



# 70th ANNIVERSARY CEREMONY REPORT

2024.5.9 in HOTEL NEWOTANI HAKATA

社外の記者をお招きし、創立70周年記念式典の取材をしてもらいました！

## 広い会場は優しくて強い「西プラスピリット」で満たされていた。

次々にやってくる来場者。この日、ロビーは笑顔で溢れていました。受付では、若手からベテランまで社員の方々が総出でゲストを出迎えていて、私は気持ちの良い挨拶に促され、式次第を受け取りました。

祝賀会に先立って行われる記念講演は満席で、山口周氏の話は期待していた通り素晴らしい内容でした。視点や話運びも秀逸で、終演後は方々から「著書が欲しい」「勉強になった」という声が聞こえてくるほどでした。

いよいよ祝賀会。宴会場の入り口では役員の方々がゲスト一人ひとりに感謝の気持ちを伝えていました。まさに全社一丸でのもてなしに胸

が熱くなります。そして祝賀会冒頭の佐々木社長の挨拶で、西日本プラント工業の“大きな存在感とエネルギー”を感じることができました。「なぜ西プラは誕生したのか。何を目標にしたのか。創業以来求められる役割や期待に応えてきた軌跡」。70年間の歩みを大画面に映し出しながら、一つひとつ噛み締めるように佐々木社長は伝えていました。続けて、西プラは「新しい未来を自らの手で創り出す」と語り、周年行事のキャッチコピー「未来に舵を切れ。」という言葉通り、力強い船出を宣言していました。

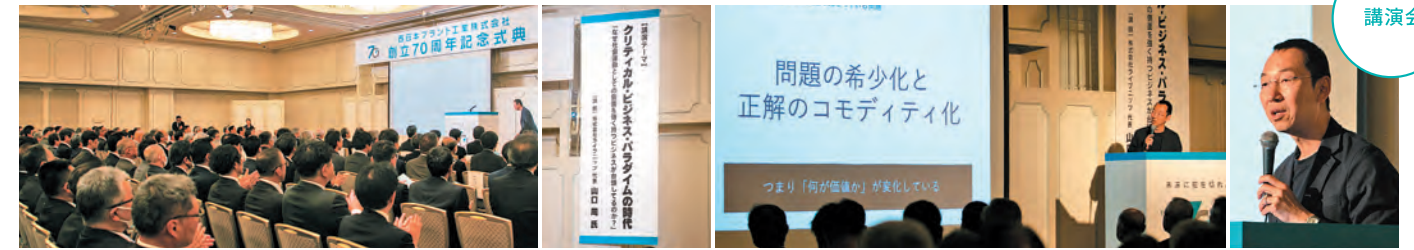
その後も、料理、パフォーマンス、映像や展示まで、一つひとつから熱い思いが伝わってきた

この式典では、来賓者からの言葉をしっかりと受け取る西プラ社員の皆さんの表情が忘れられません。どの方にも社会を支えている気概と未来を創ろうと燃える情熱が宿っていました。そしてこの祝賀会を象徴していたのが、会の終盤で藤本副社長が若手社員たちを壇上へ招き入れた時でしょう。「式典を準備してきた若手社員のチームです」と紹介。彼らはまさに“未来”そのものであり、西プラの「若者たちの力を信じる姿勢」が色濃く表れていました。

今回の70周年記念式典は、広い会場が最後まで、優しくて強い「西プラスピリット」で満たされ、至る所で会話の花が咲いていました。

## CLOSE-UP

多くのお客様にお越しいただいた「記念講演会」と「祝賀会」から印象的なシーンをクローズアップ



講演会

### 大海原を進むには、現在地を知り、風を読むこと

(株)ライブニッツ 代表 山口 周氏が登壇した「記念講演会」は満席。社会構造が大きく変わってしまった現在、未来に向けて進むには現実を正しく理解すること、そして若い力を活かしていくことが必要なのだ、様々な示唆に溢れていました。山口氏の話は、「未来へ舵を切れ。」と宣言した、西日本プラント工業への激励そのものでした。

祝賀会



### 大迫力の演奏とプロジェクションマッピングで、大航海へ出発

祝賀会を盛り上げたのは(株)QTnetが監修した「和楽団ジャパンマーベラス」と「後藤姉妹」によるコラボ演奏と、音に連動したプロジェクションマッピングです。和太鼓、篠笛にピアノという意外な組み合わせは新鮮かつ大迫力。音を全身で感じました。特筆したいのは、演奏にシンクロした壁一面を使ったプロジェクションマッピングです。「未来へ舵を切れ。」をモチーフに、音と映像で観客を大航海へと誘う演出はまさにアトラクション！会場中から大きな拍手が湧き起こっていました。

### 心揺さぶる周年記念ムービーと大作モザイクアート

西プラ社員の方が参加された周年記念ムービーは、歌から生み出されたストーリーに感情を揺さぶられました。社員の皆さんの表情も素敵で、上映後は会場に温かな余韻が残りました。また会場内には社員約2,000名の写真から作られたモザイクアートの大作が展示されており、近づくと西プラ社員の笑顔を見ることができました。(現在は本店1階エントランスに展示)



記念ムービーは70周年記念特設サイトで！

### 多くの登壇者さまにお言葉をいただきました

祝辞は九州電力(株) 池辺社長、NPC安全衛生協会の 綿貫会長、続く乾杯の発声は(株)九電工 石橋社長でした。どの方も口を揃えて、西プラの未来を目指す姿勢、若い社員の活躍を讃えていました。

会の熱気も冷めやらぬ中、NPC労働組合本部 後藤執行委員長による万歳三唱で、盛大な記念式典は終了しました。

